

CASBEE-新築(簡易版)2010年版
カゴヤ・ジャパンけいはんなラボB棟

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE-新築(簡易版) 2010
■評価ソフト: CASBEE-NCb_2010(v.1.6)

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質								3.7
Q1 室内環境								
1 音環境								
1.1 騒音								
1	室内騒音レベル							
2	設備騒音対策							
1.2 遮音								
1	開口部遮音性能							
2	界壁遮音性能							
3	界床遮音性能(軽量衝撃源)							
4	界床遮音性能(重量衝撃源)							
1.3 吸音								
2 温熱環境								
2.1 室温制御								
1	室温							
2	負荷変動・追従制御性							
3	外皮性能							
4	ゾーン別制御性							
5	温度・湿度制御							
6	個別制御							
7	時間外空調に対する配慮							
8	監視システム							
2.2 湿度制御								
2.3 空調方式								
3 光・視環境								
3.1 昼光利用								
1	昼光率							
2	方位別開口							
3	昼光利用設備							
3.2 グレア対策								
1	照明器具のグレア							
2	昼光制御							
3	映り込み対策							
3.3 照度								
3.4 照明制御								
4 空気質環境								
4.1 発生源対策								
1	化学汚染物質							
2	アスベスト対策							
3	ダニ・カビ等							
4	レジオネラ対策							
4.2 換気								
1	換気量							
2	自然換気性能							
3	取り入れ外気への配慮							
4	給気計画							
4.3 運用管理								
1	CO ₂ の監視							
2	喫煙の制御							
Q2 サービス性能					0.43			4.1
1 機能性								
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	1.00			
1	広さ・収納性							
2	高度情報通信設備対応							
3	バリアフリー計画							
1.2 心理性・快適性								
1	広さ感・景観							
2	リフレッシュスペース							
3	内装計画							
1.3 維持管理								
1	維持管理に配慮した設計							
2	維持管理用機能の確保							
3	衛生管理業務							
2 耐用性・信頼性				3.7	0.52			3.7
2.1 耐震・免震				3.4	0.48			
1	耐震性			3.0	0.80			
2	免震・制振性能	基礎免震構造		5.0	0.20			
2.2 部品・部材の耐用年数				3.6	0.33			
1	躯体材料の耐用年数			3.0	0.23			
2	外壁仕上げ材の補修必要間隔	外壁塗装:合成樹脂吹付の採用		4.0	0.23			
3	主要内装仕上げ材の更新必要間隔	床材:花崗岩・タイルカーペット・ビニル床シートの採用		5.0	0.09			
4	空調換気ダクトの更新必要間隔			3.0	0.08			
5	空調・給排水配管の更新必要間隔			3.0	0.15			
6	主要設備機器の更新必要間隔	高圧受電盤・配電盤等の採用		4.0	0.23			

2.4 信頼性			5.0	0.19	-	-	
1	空調・換気設備	熱源のバックアップ・地震時の配管クリアランス確保など	5.0	0.20	-	-	
2	給排水・衛生設備	節水型器具の採用・災害時の汚水の一時的貯留用水槽確保など	5.0	0.20	-	-	
3	電気設備	非常用電源、無停電電源設備の設置・受電設備の二重化など	5.0	0.20	-	-	
4	機械・配管支持方法	耐震クラスA(非免震構造建築物のSクラス)	5.0	0.20	-	-	
5	通信・情報設備	精密機器の浸水リスクの回避・通信引込の二重化など	5.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性			4.6	0.48	-	-	4.6
3.1 空間のゆとり			4.2	0.31	-	-	
1	階高のゆとり	各階の階高3.9m以上の確保	5.0	0.60	-	-	
2	空間の形状・自由さ		3.0	0.40	-	-	
3.2 荷重のゆとり		床荷重4500N/m ² 以上の確保	5.0	0.31	-	-	
3.3 設備の更新性			4.6	0.38	-	-	
1	空調配管の更新性	構造部材だけでなく、仕上材を痛めることなく修繕・更新ができる	4.0	0.17	-	-	
2	給排水管の更新性	構造部材を痛めることなく修繕・更新ができる	5.0	0.17	-	-	
3	電気配線の更新性	構造部材だけでなく、仕上材を痛めることなく修繕・更新ができる	5.0	0.11	-	-	
4	通信配線の更新性	構造部材だけでなく、仕上材を痛めることなく修繕・更新ができる	5.0	0.11	-	-	
5	設備機器の更新性	主要設備機器の更新ルートを確認している	5.0	0.22	-	-	
6	バックアップスペース	バックアップ設備のためのスペースを確保している	4.0	0.22	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.57	-	-	3.4
1 生物環境の保全と創出			3.0	0.30	-	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮		建物高さや外壁材など、既存棟と協調性のある計画としている	4.0	0.40	-	-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.9
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	4.5
1 建物の熱負荷抑制			-	-	-	-	-
2 自然エネルギー利用			4.0	0.29	-	-	4.0
2.1	自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50	-	-	
2.2	自然エネルギーの変換利用	外気を利用したフリークーリング設備、太陽光利用設備	5.0	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化		ERR>15%	4.5	0.43	-	-	4.5
		集合住宅以外の評価(ERRIによる評価)	4.5		-	-	
		集合住宅の評価	3.0		-	-	
4 効率的運用			5.0	0.29	-	-	5.0
4.1	モニタリング	中央監視装置により自動でデータ集積を行い、データベース化・管理を	5.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制	年間エネルギー消費量の目標値が計画されている	5.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.7
1 水資源保護			3.4	0.15	-	-	3.4
1.1 節水		節水型便器の採用	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.67	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.33	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.8	0.63	-	-	3.8
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.07	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.25	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	電炉鋼材	5.0	0.21	-	-	
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	グリーン購入法に該当するグラスウール・不燃断熱材の採用	4.0	0.21	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		-	-	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	軽鉄間仕切りにより内装材と設備が錯綜せず解体可能	4.0	0.25	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			4.0	0.22	-	-	4.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用		PRTR制度の対象物質を有しない塗膜防水の採用	4.0	0.32	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			4.0	0.68	-	-	
1	消火剤	不活性ガス消火の採用	4.0	0.33	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)	ODP=0かつGWPが低い断熱材を使用している	5.0	0.33	-	-	
3	冷媒		3.0	0.33	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.3
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO ₂ 排出量が、一般的な建物と同等	3.3	0.33	-	-	3.3
2 地域環境への配慮			3.6	0.33	-	-	3.6
2.1 大気汚染防止		燃焼機器は不使用の為、外部への大気汚染物質の排出は無し	5.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.7	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	適切な量の駐車スペースの確保・荷捌き駐車スペースの確保	5.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制	室外にゴミストックヤードを計画・適宜減量化対策を図る	4.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.1	0.33	-	-	3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	0.33	-	-	
2	振動		3.0	0.33	-	-	
3	悪臭		3.0	0.33	-	-	
3.2 風害・砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		1.0	-	-	-	
3	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			3.6	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70	-	-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	RC造外壁による反射光低減・前面道路側へのガラス開口無し	5.0	0.30	-	-	